

第1回 ぐんまの中小企業と若者の交流会 Report

☆ 5月28日(土) 14:00~16:00 ジョブカフェぐんま高崎センター
☆ 参加企業 リード工業株式会社 3人 若者参加者 15人

交流会の流れ

参加者それぞれが自己紹介の後、まずリード工業の松本さん(営業担当)、宮田さん(工場内作業担当・営業担当兼任)、大塚さん(副社長)からメッセージをいただき、その後、全員で意見交換会を行った。最後に、企業側の3人の方々と、直接・個別に意見交換を行うフリータイムを設けた。

企業側からのメッセージ

<松本さん>

リード工業の紹介をパワーポイントで行った後、「働いてお金を得るには、自分のスキルを上げて、会社に多くの利益をもたらさないとならない。すると自分が今、何をやるべきなのか自然と見えてくる。就職活動も仕事も目的意識を持って取り組まなければ成功には結びつかない。」と発言。

<宮田さん>

「初めて現場作業をしたとき、メモ帳を製造するのに、これだけのこだわりを持ち、手間をかけているのかと衝撃を受けた。製造の楽しさは自分の携わった仕事がかたちになること。」と発言。

<大塚さん>

経営サイドの立場から、企業が採用したい人材、採用の判断基準について、「リード工業の求める人材は、学歴、職歴は問わない。人の話が聞けるか、あいさつ・身だしなみがきちんとしているか、そして元気であることを重視している。また、中小企業の魅力は、少ない社員なので、その場ですぐに話し合いができ、課題の解決へと向かっていけることです。」と強調。

意見交換会

- ・リード工業の主力製品であるメモ帳のどこがすごいのかと、その開発に至るまでの取組みについての意見交換。
→リード工業側は、製品の現物を見せながら、多くの試行錯誤を繰り返しながら製品化にたどり着いた過程を説明。
- ・企業側参加者の過去の就職活動の状況と、何故、リード工業に就職するに至ったかの意見交換。
→企業側3人が全員、転職を経て、就職をしたことを話すとともに、前職での体験と苦労について発言。リード工業への入社のかっけは知人からの誘い、言わば人的ネットワークの中からであったことを発言。

- ・製造現場の実態とそのやりがい、厳しさ、その仕事に対する処遇についての意見交換。
→若者側から過去の会社での現場体験で感じたことが話された後、企業側から現場で仕事をするものの意義、やりがいについて発言。副社長自ら毎日、現場に立っていることが報告され、給与については、ボーナスの有無でなく、基本給を重視していることを強調。
- ・企業の今後の雇用計画と将来ビジョンについての意見交換。
→企業側からチャレンジしたい人にはいつでも門戸を開けてあるという点と将来は売り上げ100億円を目指すという夢に向かって進みたい旨の説明。

アンケートから見た若者の反応

- ・総じて好評で満足した様子が窺える。
- ・県内に魅力ある中小企業があるということの認知、今後の就職先としてそうした企業で働いてみたいという意欲、また、企業の中でも様々な職種があり、それぞれ、やりがい、厳しさがあるという理解も深まったことが窺える。

企業側の反応

- ・自社の特徴、主力商品のPRも相当程度でき、参加社員のプレゼンテーション能力の向上にも役立ったという感想であった。
- ・交流会のフリータイムの段階で、数人の若者から面接希望があったこと、また、後日、ジョブカフェを通し、2人の工場見学の希望が寄せられたことが報告された。

コーディネーターの所感

- ・今回の交流会で目指したことは、参加する若者に、群馬にも極めて高い技術力を持った企業が存在し、そこで働く様々な職種の方々と意見交換する中で、仕事を選ぶ上で多くの選択肢があるということを知って欲しかったこと。また、企業側には、自社のPRとともに、若者の考え方、不安を知ってもらい、今後の求人への取り組みに反映させて欲しかったことである。
- ・概ね、上記のねらいは実現できたと思っている。企業側出席の3人がいずれも30代と、参加した若者と比較的、年齢が近かった点が結果的には良かった。
- ・反省点は、もう少し時間が欲しかったということと、限られた時間の中で、若者が今、真に何を求めているのかということと、十分踏み込めなかったという点である。
- ・最後に、『リーマンショックのとき、受注が激減したが、当社は賃金カットもリストラも行わなかった。それは企業を支える「人材」は「人財」と考えているからです。』と淡々と語った大塚副社長の言葉が強く印象に残った。

<会社プロフィール>

リード工業株式会社 1955年創業。1988年リード工業(株)へ社名変更。紙製品の加工・販売業務。現在ペーパーグッズ・ノベルティメーカーとして有名。紙を加工・製本することに極めて高度な技術を持ち、「高さ日本一のメモ帳」を製造。

第1回 ぐんまの中小企業と若者の交流会の様子



松本さんからのメッセージ



宮田さんからのメッセージ



大塚さんからのメッセージ



意見交換会